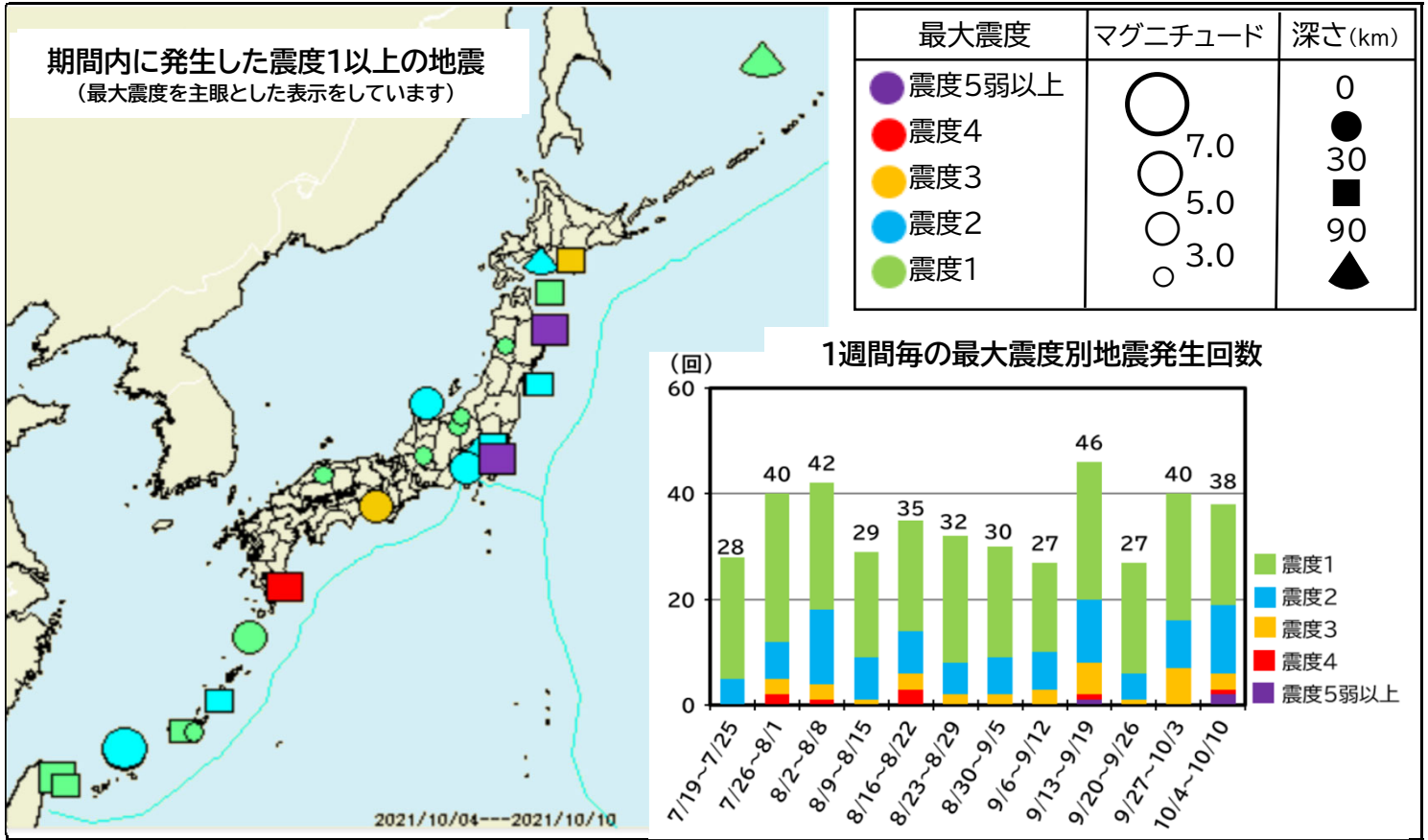


この期間の最大震度は5強(5強が2回発生)

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況

- この期間、震度1以上の地震が38回発生。最大震度は5強が2回(岩手県沖、千葉県北西部)。
- 6日02時46分に岩手県沖で発生した地震(M5.9、深さ56 km)により、青森県階上町で震度5強を観測したほか北海道から関東地方にかけて震度5弱~1を観測。この地震は太平洋プレート内部で発生した逆断層型。
- 6日17時13分に大隅半島東方沖で発生した地震(M5.4、深さ43 km)により、宮崎県及び鹿児島県で震度4を観測したほか、九州地方および高知県で震度3~1を観測。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した横ずれ断層型。この付近ではM4クラスは定常的に発生しており、M5を超える地震も時々発生している。
- 7日22時41分に千葉県北西部で発生した地震(M5.9、深さ75 km)により、埼玉県川口市、宮代町及び東京都足立区で震度5強を観測したほか、東北地方から近畿地方にかけて震度5弱~1を観測。この地震は太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界付近で発生した逆断層型。この地震により、埼玉県、東京都、千葉県及び神奈川県などで30人を超える負傷者が発生したほか、火災やエレベーターの閉じ込めなどの被害が発生した(総務省消防庁による)。(トピックス参照)

トピックス

- 千葉県北西部の地震**
- 今回の地震近傍では、2005年7月23日にM6.0、深さ73kmの地震が発生し、東京都足立区で最大震度5強を観測するなど、M6前後の地震が時々発生している。この付近の最大MIは1956年9月30日のM6.3の地震(図1)。
- 今回の地震が発生した場所は、陸のプレートの下に沈み込んでいるフィリピン海プレートと太平洋プレートの境界で発生したと推定される(図2)。
- 図3は、今回と2005年の地震の3日間の余震の発生状況で、共に数は多くない。
- この付近で国が想定している首都直下地震は、Mが7程度で深さ30~40キロなので、想定している首都直下地震とは言えない。

